



学校だより

令和3年10月4日
横浜市立茅ヶ崎東小学校
校長 近藤 伸
都筑区茅ヶ崎東2-11-1
Tel 943-0802・0803

48年前に育まれた自己有用感

学校長 近藤 伸

手元に48年前の係新聞や学級会の原案があります。私が小学校6年生の時のものですから、今では用紙も茶色く変色しています。当時の担任の先生は年度初めに学級全員に紙ファイルを配り、1年間学級で使ったプリント類を綴じるように言いました。そのためこの紙ファイルには担任の先生が発行していた学級だよりや学習で使ったプリント、係で発行した新聞、学級会の原案など様々なものが綴じられています。今でもこの48年前のプリントを見ると、その頃の学級での生活が走馬灯のように思い出されるのです。

私は当時学習係でした。活動内容は社会科や理科の学習で学級のみんなが参考になるような記事や資料を係新聞に載せて配布したり、自習で使えるような問題などを作ったりしていたので、本来の係活動のねらいからすれば少し違っていたのかも知れません。しかし、私はこの活動がとても気に入りました。友だちと分担して学習で役立つプリントを毎日のように作り、担任の先生に印刷してもらい、授業で使っていただいたのです。私はそのことが嬉しくて、また授業に役立つ内容を調べては係新聞を作るようになりました。担任の先生の立場からしたら私が作った係新聞が果たして授業に本当に役立ったのか、今となってはわかりません。しかし、その当時は今で言う自己有用感が自分の中で確実に育ったと思うのです。担任の先生は子どもたちの考えた係の活動を大切にし、私たちの活動意欲をうまく引き出してくれました。その手立てが係新聞を印刷して全員に配布し、さらに記録として綴じ込むこと、そして授業などでその係新聞を使ってくださったことなのです。

私たちは小学校、中学校、高校、大学と学びを進めていく過程で楽しかったことや頑張ったこと、苦しかったことや辛かったこと、本当に数えきれない多くの思い出が残っていきます。先ほどの私の係活動は今、振り返ってみると将来、自分が教師を目指す原点になったようなエピソードであるような気がしてなりません。本校の子どもたちも、ぜひ様々な経験をしながら多くのことを学び、今後の人生に活かしていくことでしょう。私たちも子どもたちがこれからの予想が難しい社会でも乗り越えていくことができるような資質や能力を身につけさせていきたいと考えているところです。

【学校の教育活動について】

神奈川県緊急事態宣言の解除により、学校では久しぶりに学級全員の子どもたちが揃い、学習がスタートしました。運動会（演技発表会）の練習もいよいよ当日の発表を見据えて佳境に入ります。学校では引き続き、感染対策を取りながら教育活動を行ってまいります。なお、今後も教育活動の変更などがある場合にはメール配信やHPでお知らせいたしますので必ずご確認をお願いいたします。